

令和3年10月定例教育委員会会議録

1. 日 時 令和3年10月20日(木) 午後2時38分～午後3時55分
2. 場 所 市役所新館4階 第1委員会室
3. 出席者
教育長 大下 達哉 委 員 谷口 馨
委 員 野口 和江 委 員 和田 郁美
4. 事務局出席者
教育総務部長 藤浪 秀樹／学校教育部長 和泉 全史／生涯学習部長 牟田 親也
総務課長 井上 慎二／学校適正配置推進課長 池内 正彰／学校給食課長 井出 英明
学校管理課長 樋口 泰城／産業高校学務課長 田中 幸博／学校教育課長 松本 秀規
人権教育課長 八幡 泰輔／生涯学習課長 寺本 隆二／スポーツ振興課長 庄司 彰義
郷土文化課長 西村 久美子／図書館長 橋本 純／こども園推進課長 津田 伸一
総務課主幹 柿花 真紀子

開会 午後2時38分

前回会議録について承認された。本会議録署名者に和田委員を指名した。
傍聴人0名。

○大下教育長

ただいまから、10月定例教育委員会会議を開催します。

報告第67号 岸和田市立幼稚園及び保育所再編方針【改訂】、岸和田市立幼稚園及び保育所再編個別計画(案)市民説明会の開催について

報告第68号 「岸和田市立小・中学校適正規模及び適正配置実施計画(第1期)(案)」地域説明会開催について

○大下教育長

報告第67号及び類似案件の第68号について、説明をお願いします。

○津田こども園推進課長

報告第67号につきましては、岸和田市立幼稚園及び保育所再編方針【改訂】、岸和田市立幼稚園及び保育所再編個別計画(案)市民説明会の開催についてです。

新型コロナウイルス感染症の拡大のため、延期しておりました「岸和田市立幼稚園及び保育所再編方針【改訂】」、「岸和田市立幼稚園及び保育所再編個別計画(案)」の市民説明会につきまして、別紙日時のとおり開催いたします。別紙2は、関係者への説明会等の日程です。説明

会は、当初、令和3年1月～2月で予定していましたが延期となり、再編のスケジュール内容も一部見直しになっています。具体的には、太田幼稚園・旭幼稚園・旭保育所の3園を市立の認定こども園として太田幼稚園舎に設置予定でしたが、市民説明会が実施できなかったことにより一年間先延ばしとなり、新しい認定こども園は令和7年4月にオープン予定です。それに伴い、太田幼稚園・旭幼稚園・旭保育所の閉園時期も一年先送りさせていただきました。他の園については当初の予定どおりとなっています。

○池内学校適正配置推進課長

報告第68号につきましては、「岸和田市立小・中学校適正規模及び適正配置実施計画（第1期）（案）」地域説明会開催についてです。

状況はこども園推進課と類似の状況で、岸和田市内の感染状況も落ち着いてきていますので、小中学校の再編に関する地域説明会につきましても、資料1の日時のおり開催します。こども園推進課の説明会と異なる点は、小中学校の説明会については地域を絞って開催しますので、事前申込制はとっておりません。資料2は関係者への説明会等の日程です。資料3は地域説明会日程の変更による全体スケジュールの変更について、変更前・変更後を示しています。説明会は当初令和3年1月～2月で予定していましたが、令和3年7月に再予定したものが延期となり、令和3年11月から開催することとなりました。地域で説明会を開き、一定合意をいただける状態になれば、学校開校準備委員会を設置、早ければ令和9年4月を当初開校予定としていました。しかし、説明会開催がずれることにより、委員会の設置も早くても令和4年秋になるかと考えていますので、新しい学校の開設についても、年度途中になることはありませんので、早くても令和10年の4月頃になる予定です。

○大下教育長

説明が終わりました。本件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。

○和田委員

市民の反対意見も多く聞こえてきます。納得できない方が多ければ、それによってもスケジュールがずれ込んでいくのでしょうか。

○池内学校適正配置推進課長

地域説明会をさせていただき、たたき台として（案）を提示する予定です。それに対し色々なご意見を頂戴するかと思います。それも受け、今後も引き続き地域の方と十分に協議を重ね、学校開校準備委員会を立ち上げるまでに、地域の方にご納得いただけるような状況をできるだけ作りたいと考えています。協議には十分な時間をとりたいと考えますが、学校の小規模化が加速度的に今後進んでいきますので、一定の時期を考えながらじっくりと話をしていきたいと思っています。

○和田委員

幼稚園から認定こども園に変わると、先生の手数は減ってしまうのでしょうか。

○津田こども園推進課長

幼稚園、保育所、認定こども園にはそれぞれ配置基準がございますので、ルールにのっとり適切に配置したいと考えます。

○和田委員

全体として先生があふれてしまう状況にならないでしょうか。

○津田こども園推進課長

実際、幼稚園では幼児数が減っており、先生の配置数が2名といった園もあります。お休みが取りにくい状況もあるとも聞いています。一定の集約化によってスケールメリットを働かせ、先生方には退職いただく、定年まで働いていただきたいと思います。またあふれる状況となるようであれば、必要などころに加配して運営していきたいと考えます。

○大下教育長

他にいかがでしょうか。ないようですので、報告として承りました。

報告第 69 号 令和 4 年度入園児募集結果について

○大下教育長

報告第69号について、説明をお願いします。

○井上総務課長

報告第 69 号につきましては、令和 4 年度入園児募集結果についてです。

4、5 歳児の募集を 10 月 5 日、6 日に実施しました。10 月 6 日現在の願書受付状況ですが、5 歳児は新規受付が 12 名、継続児が 281 名の合計 293 名、4 歳児は新規受付が 47 名、継続児が 201 名の合計 248 名です。

3 歳児の申し込み状況は以前に報告しましたが、10 月 6 日現在で 7 名の辞退者がありましたので内定が 176 名となっています。願書受付時に定員を超えていた常盤幼稚園は、22 名の入園予定です。その後随時募集を 10 月 13 日から行っています。

次に 4、5 歳児の 10 月 6 日現在の来年度の入園率は 5 歳児で 20%、今年度の入園率が 23% でしたので 3% 減少しています。4 歳児は来年度 17%、今年度が 19% でしたので 2% の減少となっています。

平成 29 年度から令和 4 年度の推移を見ましても、入園率は減少傾向です。無償化による私立志向や共働き等による保育ニーズの高まりが影響していると思われます。

なお、修斉幼稚園が 4 名、山滝幼稚園も 2 名ということで、近隣の山直南幼稚園、天神山幼稚園との交流を継続する予定です。また浜幼稚園も 8 名なので岸城幼稚園との交流の可能性があります。東葛城幼稚園も 3 名となっていますが、小規模特認校である東葛城小学校に準じて取り扱うためこの取り扱いは行いません。

次に通園区を廃止した影響について、昨日集計をしましたら、4 歳児受付数のうち校区をまたいだ申込者は 13 名でした。理由で一番多いのは、3 歳児から幼稚園に通っており 4 歳児で校区の園に戻らなかったケースが 8 名です。5 歳児受付数のうち校区をまたいだ申込者は 2 人でした。こちらは小学校入学までに転居を考えているケースなどです。以上のことから、通園区の廃止に伴う影響は、当初の想定のとおり限定的であると考えます。

○大下教育長

説明が終わりました。本件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。

○野口委員

東光幼稚園の 4 歳児の申込が極端に少ないのは、閉園予定の影響でしょうか。

○井上総務課長

5 歳児で必ず転園しなければならないという条件がありましたので、その影響かと思います。

○大下教育長

小規模交流の話ですが、山直南も8名ですがこちらの交流先は。

○井上総務課長

原則、山滝から交流に来ていただいて交流ということになります。

○大下教育長

人数が多い方の山直南で交流されるということですね。

○井上総務課長

基本的にそうですが、山滝の方へ山直南が行くということもあります。

○野口委員

認定こども園化する前に、園児数がゼロになる園も出てくるかもしれません。その場合は閉園ということになるのでしょうか。

○井上総務課長

現時点では、山滝幼稚園の4歳児の申込みがゼロですので、令和5年度には園児がゼロになる可能性があります。条例上園は残っていますが、実際は募集を停止しているという状況となり、閉園ではなく一旦休園という形になるかと思います。休園となれば、課題もあるかと思えますので、来年度に向け検討していきたいと思えます。

○大下教育長

他にいかがでしょうか。ないようですので、報告として承りました。

報告第70号 岸城幼稚園外9園への寄贈について

○大下教育長

報告第70号について、説明をお願いします。

○樋口学校管理課長

報告第70号につきましては、岸城幼稚園外9園への寄贈についてです。

寄贈品名はきずセットで、寄贈目的は正しい傷の処置普及のためです。寄贈者は、大阪狭山市在住の長尾典尚様で、寄贈年月日は令和3年9月25日です。長尾様は大阪狭山市でクリニックの院長をされています。クリニックのホームページにも、正しい傷の処理の仕方の動画を公開されたりしています。

○大下教育長

説明が終わりました。寄贈先が23園中10園となっている理由は何でしょうか。

○樋口学校管理課長

以前に怪我をした時の手当の仕方などを教えて頂いた等の関わりがあった園に、寄贈を頂きました。

○大下教育長

他にいかがでしょうか。ないようですので、報告として承りました。

報告第71号 令和3年度 全国学力・学習状況調査及び岸和田市学力調査の結果について

○大下教育長

報告第71号について、説明をお願いします。

○松本学校教育課長

報告第 71 号につきましては、令和 3 年度全国学力・学習状況調査及び岸和田市学力調査の結果についてです。

令和 3 年度全国学力・学習状況調査、岸和田市学力調査の結果について、市民に対して説明責任を果たすとともに、本年度の結果を踏まえての改善についてのポイントを明確にし、学力向上を推進するものです。また、岸和田市学力調査についても、同様に結果の分析を行い、課題を明らかにしたうえで授業改善に活かしてまいります。

昨年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で双方中止となりましたが、本年度は実施いたしましたのでご報告します。コロナ禍で全国学力テストが 1 か月遅れましたので、岸和田市学力調査も遅らせまして、この時期の報告となりました。本日の内容は「岸和田の子どもたちに確かな学力を！」という資料として、例年、Web サイトに掲載し、本市の学力の状況等についてお知らせしています。

まず、全国学力・学習状況調査のご報告です。資料 2 ページから 3 ページ『各教科の平均正答率について』です。全国学力・学習状況調査につきましては、今年度、小学校は国語・算数、中学校は国語・数学での実施となりました。

まず小学校ですが、国語の平均正答率は、全国との差が R1 と比べほぼ同じ数値、若干プラス、また、算数につきましても、R1 とほぼ同じ数値、若干プラスということで、総合的には R1 との比較は現状維持ということになります。

次に中学校ですが、国語については小学校と同様、全国との差が R1 と比べほぼ同じ数値、若干マイナス、数学につきましても、R1 とほぼ同じ数値、若干マイナスということで、総合的には R1 との比較は現状維持ということになります。

続いて、4 ページ『正答率 40%以下の児童生徒の割合について』です。全国の値を 1 とした時の岸和田市の割合を経年で示しています。小学校では、国語・算数ともに下位層の割合が増加している状況です。一方、中学校では、国語において 2.03 となっており、全国の値との差が多くなっています。数学についても、R1 に比べ若干数値が増えています。

5 ページからは、各教科の結果を示しています。教科における指導領域別の正答率、特に課題のあった問題、改善に向けたヒントをそれぞれ記載しています。また、下の欄に QR コードを掲載し、問題や回答をご覧いただけるようにしました。

続いて、9 ページ、岸和田市学力調査についての概要です。

小中各学年各教科の正答率の全国に対する割合、課題、改善に向けてを示しています。

13 ページからは全国学力・学習状況調査における生徒質問紙から抜粋して、調査結果を記載しています。今年度は、授業づくりや学習習慣に係る質問に絞って、その状況を記載しています。いくつか特徴的なものを取り上げますと、質問の一つ目、「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。」という項目は、小中ともに肯定的回答が全国に比べて少なくなっていますが、R1 に比べると若干上回るという結果となっています。また、質問の六つ目「新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、規則正しい生活を送っていましたか」という項目は、小中学校とも肯定的回答が 6.7%、8.8%全国を下回っています。家庭での規則正しい生活習慣の確立の必要があります。

次に、19 ページ『今後の改善策について』です。結果的にはR1 から大きな差はないということですが、R1 がそもそも全国を下回っていますので課題があると考えます。

『(1) 小中学校における授業改善の推進』について、6つ挙げています。「ことばの力」を確実につける授業づくり、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業づくり、小中9年間を見通した系統性のある学習指導の推進、教職員の授業改善に向けた研修(パッケージ研修)の実施、授業改善推進支援事業の実施、授業改善アドバイザーの派遣、これらを引き続き、岸和田市の学校園の授業づくりの推進の軸としていきます。

『(2) 岸和田市学びの土台づくり推進事業』については、学習の土台となる認知機能を整え、研究成果が認められている『コグトレ』(認知機能トレーニング法)について研究を推進支援します。

『(3) GIGA スクール構想における ICT 機器の利活用』については、一人一台端末を利活用し、児童生徒の学力向上に向けて取り組んでいきます。

(4) から (8) については、従前から行っているもので、今後も一層取組を進めます。

○大下教育長

説明が終わりました。本件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。

○和田委員

「一日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか」という項目をみると、国よりも市の子どもの方が長時間ゲームをしています。全国の保護者の方はできているのに、岸和田の保護者の方は子どもに対しきちんと指導ができていないということでしょうか。

○松本学校教育課長

アンケートの読み取り方は様々あるかと思います。委員がおっしゃるように考えることもできます。一概に学力と比例するとは言いきれませんが、家庭での学習支援についても発信を検討いたします。

○和田委員

規則正しい生活というのも、自宅で親ができること、子どもに対して指導していかなければならないことなのかなと思いますね。

○松本学校教育課長

様々な要因があり、一概にそれが要因とは言えないかもしれませんが、このような結果でございます。

○大下教育長

学校での授業改善あるいは学習での土台づくりも大事かと思いますが、和田委員からあったように、家庭での生活習慣を整えることが、学力の向上に繋がる可能性があるかと思います。これに関し、過去に、府教委が朝ご飯をしっかり食べましょうといった取組をした事があったかと思いますが、直近で家庭向けへの発信はどうしていますか。

○松本学校教育課長

3 年程前までは、家庭学習や家での生活習慣について、協力を依頼する保護者向けリーフレットを継続して出していましたが、昨年度、一昨年度は実施していません。家庭への発信の必要性について引き続き検討をしております。

○和泉学校教育部長

府教委から保護者への発信は、あまり積極的でないように感じます。かつては早寝早起き朝ご飯をスローガンとしていた時期もありましたが、今はそれを推し進める感じはないようです。

○大下教育長

何らかの理由や反発などがあったのでしょうか。

○和泉学校教育部長

理由ははっきりしません。

○大下教育長

学校・家庭双方、それに地域もプラスされると思います。それぞれが関わらないと学力の向上はなかなかできないと思います。総合教育会議で市長と議論ができれば、有意義に思います。

○松本学校教育課長

学校での教育の改善はもちろんだと思います。先生方には引き続き発信をし、授業改善に取り組んでもらいます。

○和泉学校教育部長

アンケート量が膨大で、すべてをここに載せきれっていません。全容について別途委員へ提供させていただきます。新たな観点等がありましたら、お教えいただくと有難いです。

○大下教育長

地域の教育力を学校に取り込んだり、地域の教育力を高める意味でも、コミュニティスクールという手法は有効なのでしょうか。

○和泉学校教育部長

国が進めようとしているところの一つの理由ではあると思います。

○大下教育長

今は無縁社会で、人の子に口を出すと不審者扱いされるといったこともあります。やはり地域で子ども達をしっかりと教育するというのも大事なことだと思います。特に都市部においては、その辺りの機能が弱っていていると思います。

○松本学校教育課長

地域という部分では、当市は強い部分があるかと思っています。

○野口委員

この結果を公表するにあたり、再度、表記等の確認をお願いしたい部分があります。国・市の対比の部分で、途中のページから国・市の記載位置が逆転しています。また、中学生に関する記載で第4学年との表記があるので、こちらも確認をお願いします。

中身の話ですが、全国学力学習状況調査の岸和田市の無回答率の高さについては、非常に深刻だと感じています。やる気がないということもあるかもしれませんが、手も足も出ないということなのかもしれません。正答率40%以下の児童生徒の多さに連動しているところもあるでしょうし、その子たちが学習に対してどういう意識をもっているかというところが大変気になります。「コロナで不安をもっていますか」の値は全国と比べて低く、学力が低い市でありながら子ども達は学習に対して不安を持っていない、不安を持っていないという興味を持っていない、というレベルではないのかなと懸念します。先程、和田委員からもご指摘のあったテレビゲームの時間の長さや家庭との関わりなどがすべて連動している、ということで私たち

も捉えていかないといけないかと思えます。教育委員会でも、学校でも、一つひとつ努力をしていると思うのですが、大きく捉えていかないとこれは進んでいかないと思いました。先ほど教育長からのご発言もありましたが、総合教育会議で市長ともしっかりと話していただき、市でどういう風にとらえていくのかをしっかりと考えていかないと、飛躍的な向上はしばらく難しいのではないのかなという気がしています。

○松本学校教育課長

無回答率は今年に始まったことではなく、10年以上ずっと続いている状況で、ここが岸和田市の一つのポイントであると認識しています。

○和泉学校教育部長

事務局で様々な議論をしている中で、まず学びに向かうことができない子ども達に何とか手立てをしていくことが必要となりました。子ども達が座って、鉛筆を持って、話を聞いてというところに向かえるようにということで、コグトレに取り組むようになりました。また、生徒指導の課題も、学力と当然密接に関係しています。さらに生徒指導の課題として、発達に課題のある子ども達が生徒指導の事案に大きく関わっているのではないかということです。支援が必要な子ども達にどう手当していくのかということも一緒に考えていかねばなりません。委員がおっしゃられたように、学力のことだけをやっていてもなかなか状況は改善せず、本当に総合的に、生徒指導面、特別支援の観点も入れ、すべてのところで少しずつ綻びがないようにしていかないとと思えます。そうやって少しずつでもあがってほしいというレベルです。急激に上がるということも考えにくいです。

○野口委員

それこそ4月からこのテストまでの間、受験勉強のようにテスト対策をするといったことは、私は違うとは思いますが。けれど、こういった問題に取り組めないという状況は深刻にとらえていかねばならないと思えます。

○和泉学校教育部長

文科省も、過去の問題を繰り返しやってトレーニングするといったやり方は違うとはっきり言っています。ただ、全国調査で計ろうとしている力というのが、今求められている学力感を具現化したものですので、そういうことを普通の授業の中から取り組んでいないとやはり対応できませんし、そうでないとこのテストに向かった時に普段やっていることと違うとなりますので、そこの意識を教員が持っているかどうかということでは問うていかなければなりません。先ほど課長から授業改善の報告がありましたが、そういう意味での授業改善は、引き続き学校に対しては、しっかりと指導していかなければいけないと思っています。

○大下教育長

事務局で、学力向上にとって、次に何をしなければいけないかという議論をしました。まず、無回答率が高いことについては、そもそも教員がいくら授業改善をして授業内容を高めて子ども達に伝えても、それが聞き取れていないのではないかと、理解できていないのではないかとということで、コグトレをやってみようということになりました。今回も直角三角形の面積を求めるのに、底辺と高さが混乱するよう三角形をひっくり返したところ、斜辺を底辺とみて間違っている事例が多くありました。そういう部分は、コグトレで同じ図形を探しましょうということをしてトレーニングすることで、一定改善されるというように思います。そのように一定手は打

ったんですが、次に何をすべきか、そもそもやる気がない、学習に目が向かないところに、どう子ども達の関心を持たせるのか、成績が悪いから勉強しなさいだけでは勉強しないので、なぜ学ばなければならないのか、なぜ学ぶことが自分にとってプラスになるのかということ、子ども達に分かりやすく伝えなければならない。そういう意味で、各学年各発達段階に応じたキャリア教育は重要だなというのを、合わせて議論していました。今後も、継続してキャリア教育の取組について議論を進めていきます。

○谷口委員

授業改善にずっと取り組まれていると思いますが、脳科学的に言えば、インプットの量と知識とは比例しない、アウトプットの量と知識は比例する、しかも2週間に3回使った知識は記憶に残ると分かっています。先生がひたすら言っても多分何も残っておらず、グループ学習みたいな形で、例えば、100点中10点の人は5点の人に教えるというように、生徒同士が教え合えば、自尊感情を持ちながら、勉強に取り組む意欲を持てるようになります。誰かに教えるということが自分に戻ってくるという事になりますので、既にされているとは思いますが、参考になればと思います。

○松本学校教育課長

有難うございます。この結果だけが学力ということではないですが、やはり数字に出てきますので、今ご意見いただいたことも深めながら取り組んでいきたいと思えます。

○大下教育長

他にいかがでしょうか。ないようですので、報告として承りました。

報告第72号 令和3年度 岸和田市中学校総合体育大会について

○大下教育長

報告第72号について、説明をお願いします。

○松本学校教育課長

報告第72号につきましては、令和3年度岸和田市中学校総合体育大会についてです。

日時は、令和3年7月26日(月)～10月24日(日)、ソフトボールに関しては令和3年11月3日(火)で実施、場所は各種目、ご覧の通りとなっております。

別紙をご覧ください。各種目の結果はご覧の通りとなっておりますが、ソフトテニス男子に関しましては、緊急事態宣言の影響で日程調整が上手くいかず中止、バスケットボールは日程延期により、10月24日(日)が最終となっております。

○野口委員

コロナで活動もままならない中、生徒さんもよく頑張っておられるなと思えます。有難うございます。

○大下教育長

説明が終わりました。本件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。ないようですので、報告として承りました。

報告第73号 令和3年度「人権週間」(12月4日～10日)に関わる行事の実施について

○大下教育長

報告第 73 号について、説明をお願いします。

○八幡人権教育課長

報告第 73 号につきましては、令和 3 年度「人権週間」（12 月 4 日～10 日）に関わる行事の実施についてです。

3 点ご報告します。

1 点目、人権を考える市民の集いは、12 月 4 日（土）14 時から 16 時、マドカホールで開催します。講師として歌手の沢知恵さんをお迎えし、「いのちのうた、こころのうた」という演題で講演を行う予定です。

2 点目、人権を守る作品展は、12 月 3 日（金）から 5 日（日）10 時から 17 時まで、マドカホール 1 階展示場で、全小中学校、産業高等学校の児童生徒の人権標語と人権ポスター、園児の写真パネル、夜間学級の鉛筆ポスターなどの展示をします。また、巡回人権を守る作品展は、記載の日時と会場で行います。なお、各会場の近隣の小中学校の作品を展示します。

3 点目、人権週間記念品として、子ども達の作品の中から選ばれた標語 1 点とポスター 6 点を印刷したクリアホルダーの配付を予定しています。参考までに、本日、昨年のもを配付しています。子ども達が毎日使い、日常的に作品に触れることができるため、毎年、好評をいただいています。幼稚園から小学校、中学校、産業高等学校の幼児児童生徒及び全教職員 1 人 1 枚、12 月に配布を予定しています。

○大下教育長

説明が終わりました。本件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。

○谷口委員

クリアホルダーを拝見しました。本当に素晴らしい作品で、すべての幼児児童生徒及び教職員と多くの方に配布されているということですが、他でも活用はされないでしょうか。12 月だけに限らず、どこかへ掲示し続けるといったことで活用してもいいかもしれません。ちなみに、今市役所 1 階ロビーに展示しています「むし歯予防・歯と口の健康」ポスターは、歯科医師会がカラーコピーをして待合室に貼ってもらえるようにと、各診療所に配布をしています。次の年がくるまでは掲示されるというように、活用をしています。公共施設やずっと掲示できるような形の活用の仕方はいかがでしょうか。

○八幡人権教育課長

3 日間の作品展の間は、会場にクリアホルダーを用意し、持ち帰っていただくようにする予定です。掲示についてはまた検討していきます。参考までにお聞きしますが、ポスターの掲示は具体的には写真データなどで取り込み、加工されているのですか。

○谷口委員

はい、そのようにしています。各診療所の希望を聞き、また地域にいる方がいれば選定してもらおうよう伝え、データをお送りするということをしています。本人がたまたま目にすれば大変嬉しいと思います。工事の際のパネルに掲示をしたこともありまして、その際は大変和みしました。大変良い作品なので、そのような活用の仕方などを考えて頂けたらと思います。

○大下教育長

他にいかがでしょうか。ないようですので、報告として承りました。

報告第 74 号 令和 4 年 岸和田市成人式の開催について

○大下教育長

報告第 74 号について、説明をお願いします。

○寺本生涯学習課長

報告第 74 号につきましては、令和 4 年岸和田市成人式の開催についてです。

この事業は、「成人の日」を迎えるにあたり、本市の次代を担う新成人を招待し、成人としての認識を深めることを促し、前途を祝福・激励する場とするとともに、責任ある社会人としての自覚を促し、認識を深めることを目的として実施します。

日時及び場所は、令和 4 年 1 月 10 日（月・祝）、南海浪切ホール（1 階・2 階）、入替制の 2 部制で実施します。昨年度も、新型コロナウイルス感染症の予防対策として、総合体育館において、初めて 2 部制で実施しました。

入場者は、対象者のみとし、式典参加者には入場時の検温、マスクの着用と手指消毒の徹底を促すなど、新型コロナウイルス感染症の予防対策を行います。

対象者は、平成 13 年 4 月 2 日から平成 14 年 4 月 1 日までに生まれた方で、令和 3 年 4 月 1 日現在で、2,145 人が対象で、その男女の内訳は、男子 1,142 人・女子 1,003 人です。第 1 部は 11 時から、対象校区は、(約 1,000 人) 葛城・久米田・桜台・土生・山直・山滝の各中学校区です。第 2 部は 14 時から、対象校区は、(約 1,000 人) 岸城・野村・光陽・春木・北の各中学校区です。

式典の内容は、第 1 部、第 2 部ともに、まず、開会のアナウンスの後、「ジュニアオーケストラ演奏による国歌斉唱」「市長による主催者代表挨拶」「市議会議長による来賓祝辞」「来賓紹介」「新成人の誓い・未来へのメッセージ返却」「ジュニアオーケストラ演奏」「こども園マーチング」などを予定し、1 時間ほどで終了予定です。

また、南海浪切ホール前にある「祭りの広場」では、「岸和田市立産業高校による写真スポットの設置」、「岸和田カンカンベイサイドモール事業者による催し」、「世界のユニークな成人式・成年年齢紹介パネル展」、「ちきりくん等、ゆるキャラの出演」などを行います。

周知方法は、広報きしわだ 11 月 1 日号・岸和田市ホームページで行います。

○大下教育長

説明が終わりました。本件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。ないようですので、報告として承りました。

報告第 75 号 東京 2020 オリンピック聖火リレーのトーチ展示について

○大下教育長

報告第 75 号について、説明をお願いします。

○庄司スポーツ振興課長

報告第 75 号につきましては、東京 2020 オリンピック聖火リレーのトーチ展示についてです。

東京 2020 オリンピック聖火リレーで使用されたトーチを市として購入しましたので、展示します。10 月下旬から 11 月末までは市役所新玄関に展示し、12 月以降は市民センターや図書館など、他の公共施設をそれぞれ 1 週間くらいで巡回展示予定です。別紙の説明文をカラーで拡大印刷し、パネルに入れて、トーチ横に設置します。

○大下教育長

説明が終わりました。本件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。
設置物が倒れて怪我をする人がないよう、安全管理をしっかりとお願いします。
他に意見がないようですので、報告として承りました。

報告第 76 号 まちライブラリー「岸和田ブックフェスタ」の開催について

○大下教育長

報告第 76 号について、説明をお願いします。

○橋本図書館長

報告第 76 号につきましては、まちライブラリー「岸和田ブックフェスタ」の開催についてです。

図書館では、本を通じて人と人が出会い、交流する取組として、令和元年7月から「まちライブラリー」を開設しています。「まちライブラリー」とは、個人がお気に入りの本を自由に持ち寄る本棚を用意し、私設のミニ図書館をつくるもので、本を読んだ人がカードに感想を書き込んで本棚に返すなど、本を通じて見知らぬ人同士が交流できるきっかけをつくろうとする取組です。現在、公立図書館や大学図書館、個人の方も含め、全国でおよそ 740 か所開設されています。

「ブックフェスタ」は、この「まちライブラリー」でイベントを開催し、人と人が出会い交流する実践の取組とするとともに、「まちライブラリー」相互に紹介しあうことで、この取組をより活性化しようとするものです。

岸和田市立図書館においても、個人が自由な発想でやりたいことを自分で持ち寄り、実現する場として「ブックフェスタ」を企画したところ、チラシに記載のとおり 8 名の方に企画を持ち寄っていただきました。

本を通して人と人が出会い、新たな交流を生み出すきっかけをつくることで、新たな図書館利用者を開拓するとともに、生涯学習基本方針にある「学び+実践+ネットワーク」を実現する取組として進めていきます。

○大下教育長

説明が終わりました。本件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。
ビブリオバトルとありますが、ビブリオの意味、イベントの内容はどんなものですか。

○橋本図書館長

語句の意味までは分かりませんが、おすすめの本の内容をプレゼンテーションしていただき、どのプレゼンテーションが一番いいか、その本を読みたいと感じたかを競うものです。

○藤浪教育総務部長

ビブリオは、ラテン語由来の言葉で、書物を意味する言葉のようです。

○野口委員

岸城中学校の生徒さんが全国一位になったことがあるかと思います。

○橋本図書館長

3 年前、ビブリオバトルの中学校全国大会に岸城中学校の生徒さんが出場され、優勝されたことがありました。残念ながら、コロナ禍で、昨年、一昨年はその大会は中止となっています。

○野口委員

企画された方が中心となって、各講座は進められるということですか。

○橋本図書館長

はい。企画された方が、企画者としてまた司会者となられたりして、イベントを開催します。

○野口委員

図書館は、場所の提供を行うということですか。

○橋本図書館長

はい。場所の提供や広報を行います。

○和田委員

イベントに参加するという形ですか。新たに自分で持っていった本について語り合うということもできますか。

○橋本図書館長

企画していただいた方には自分の本を持参して語っていただきますが、イベント開催時に来館された方が、イベントに参加し、持参した本をその場で紹介いただくこともできます。

○和田委員

図書館合コンとか、楽しそうな内容もありますね。

○橋本図書館長

はい。企画者には年配の方から若い方までおられ、私どもでは思いつかないような企画案をいただけたと思います。

○野口委員

イベントには何名ぐらい参加されましたか。

○橋本図書館長

一つひとつは大きなイベントではないですが、概ね 10 数名位参加いただいています。本イベントをきっかけに友好が深まってという状況もあるようです。

○大下教育長

事前検閲や表現言論の自由を侵してはいけませんが、公の場で開催されるイベントと言いながら、例えばヘイトにつながる内容であったり公序良俗に反したりという可能性はあるわけです。そのあたりのチェック体制はどうなっていますか。

○橋本図書館長

企画募集の際、ブックフェスタという意図を理解していただけているか、「まちライブラリー」の趣旨に合うのか、逸脱していないのかを確認しております。趣旨に合わない場合は、イベントの実施をご遠慮いただいたり、趣旨に合うよう内容の変更を検討いただいています。

○大下教育長

デリケートな部分ですが、そこはしっかりしておく必要があります。他にいかがでしょうか。ないようですので、報告として承りました。それでは、議案の審議に移ります。

議案第 57 号 補正予算について（事業費補正）

○大下教育長

議案第 57 号について、説明をお願いします。

○橋本図書館長

議案第 57 号につきましては、補正予算について（事業費補正）についてです。

2 件ご寄附をいただきました。令和 3 年第 4 回定例市議会に歳入・歳出補正予算を審議いただくものです。

1 件目は、寄附年月日は令和 3 年 8 月 29 日、寄附者は岸和田市池尻町の河合昌子様、寄附金は 8,796 円、寄附目的は図書購入費に充当のためです。金額が端数であるのは、本金額がイベント実施後の清算後の剰余金によるものです。コロナ禍で途中から講座がオンラインへと切替となり、旅費等の経費が削減されました。経費は 110 名の受講者の受講料からの捻出でしたので、受講者の同意のもと、その剰余金については、図書館へ寄附いただくことになりました。

2 件目は、寄附年月日は令和 3 年 9 月 16 日、寄附者は大阪市の一般財団法人永井熊七記念財団、寄附金は 1,000,000 円、寄附目的は図書購入費に充当のためです。永井熊七記念財団様からは、昭和 51 年よりほぼ継続してご寄附をいただき、その金額は累計約 4,500 万円に及びます。また、ご寄附により購入した図書冊数は約 15,000 冊に及びます。

○大下教育長

説明が終わりました。本件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。ないようですので、原案のとおり承認することとします。

以上で全ての案件が終了しましたが、他に何かございませんか。

ないようですので、これをもちまして本日の定例教育委員会会議を閉会します。

閉会 午後 3 時 55 分

本会議録に相違ないことを認め署名する。

教育長

署名委員